令和六年度学校文集【令和七年二月】

ひらやま　十五号

熱くてふうふう

三年二組　鈴木　総亮

今日、キムチなべをしました。キムチなべするとか、全然知らなかったけど、なべのような容器があったので、「なべをするのかなあ」と思いました。「なべ」と言えば「冬」で、よけい、おいしく感じられました。

しょにキャベツ、えのき、肉を食べました。熱くて、口がもえそうみたいになりました。だから、次からちょっとずつ食べるようにしました。お母さんがめんを入れたので、取しって食べました。いっぱいふうふう「ふうふう」しないとだめだけど、めちゃいっぱいしないとだめちゃおいしいからオッケーです。

【宮崎日日新聞『若い目』令和六年十二月三十一日】

畑の草取り加勢

六年一組　平岡　明

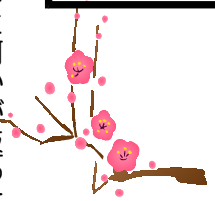
私は、おばあちゃん家に行きました。そこで、畑の草を取るのを加勢しました。ものすごくこしが痛くなったので、つかれたなと思いました。大量に草を取ったので、畑がきれいになりました。「とてもいっかんとかいがあったな」

【宮崎日日新聞『若い目』令和六年十二月三十一日】

ありがとう

三年一組　佐藤　ゆうと

今日、ぼくは、ぼくのクラスの友だちとくるまで、「がんばった」と言われ、千円のおこづかいをもらいました。とてもうれしかったです。

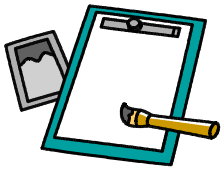


【宮崎日日新聞『若い目』令和七年一月三日】

しゅう字

二年一組　池田　華

わたしは、十一月から、しゅう字をはじめました。土曜日書いたは、「しんせつ」です。先生にもらいました。方や線の長さを教えてもらいました。書くことはとても楽しいです。



一どは、書くことはとてもきのこりは、ことばだけです。もっとたくさんかきたいとおもいます。今よりもっとたくさんかきたいです。

【夕刊デイリー『光の子』令七年一月十日】

人を大事にする

三年二組　佐藤　叶羽

今日、妹と遊びに行きました。わたしは、妹と遊びました。妹は、同じクラスの友だちと遊びました。分かれて遊んでいたけど、ちょうからいっしょに遊びました。妹の友だちとは、あんまりな仲よくなくて、いっしょに遊ぶのがいやだったけど、ある言葉を思い出しました。

「人をカルタ」の「人を大事にする」という言葉が出てきました。わたしは、はっとし、自分から声をかけました。「かけっこしよう」と言うと、みんなが「いいよ」と言ってくれたので、安心しました。その後、なかよくなり、たくさん遊びました。5時には家にいないといけないので、時計を見て、4時47分に、遊びをやめて、かいさんしました。遊びのとき、キーホルダーを作ったので、持って帰りました。また、妹の友だちと遊びたいです。

【宮崎日日新聞『若い目』令和七年一月二十二日】

お母さんのご飯

六年一組　那須　菜々美

私の好きな食べ物は、お母さんがおったものです。ハンバーグは、お母さんが作ってもおいしいです。ハンバーグのソースとてもおいしいです。ハンバーグはなつかしいオムライスです。味がとてもおいしいです。毎日のようにたべたいです。私にはお母さんのご飯が一番でいすきです。もちろん、おかしはあまくておいしくて、大好きです。そのおかしよりも愛情がはいっています。いいとっても思いますぐらい、死ぬ前には必ず食べたいです。お母さんのご飯が好きです。

【宮崎日日新聞『若い目』令七年一月二十七日】

おばあちゃんのおでん

一年二組　黒田　季諒

まえからおでんがたべたくて、おばあちゃんにおねがいしていました。土よう日にもっておでんをたべたくてしかたがなくなりました。ばあちゃんにおねがいしていました。ととはしばいにくとくるおでんがこんにくとくるおでんがこんにくとくるおでんがこん